

杉並区立向陽中学校学校運営協議会長 鈴木祐二

コミュニティ・スクール制度の中核組織「学校運営協議会」が目指しているのは「より良い学校教育」と「(地域ならではの) 特色ある学校づくり」です。

当地の「地域力」を生徒の皆さんの為に活用し「豊かな学び」を実現することです。

生徒の「介護体験」や「職業体験(農業・老人ホーム・商店等)」は毎年地域の協力で成り立っています。

土曜公開授業には多くの地域ゆかりの講師が登場しています。

放課後の学外無料学習支援の場「Cafe 勉」も地域の教員 OB や明大生が担っています。

今年度はプロフェッショナルによる部活動サポート「KOYO わくわくレッスン」(第1回は杉並区を本拠地とする日本フィルハーモニー交響楽団奏者による吹奏楽指導)がスタートし、今後運動部にも展開する計画となっています。

向陽祭恒例のクラス対抗合唱コンクールでは今回3年生を3人の地域在住の声楽家に指導して頂きました。

知識は学内でも学べますが、より大切なのは広い体験や追体験(話を聴く等)です。

学ぶ場所も校舎に限らず「^{まちじゅう}街中がキャンパス」なのです。

保護者や地域の皆さんからの「こんな方がいますよ」「こんな実習ができますよ」と云う声をお待ちしています。